

安全データシート

製造者情報	会社	株式会社ニューホープ
	住所	埼玉県坂戸市本町7-17
	担当部門	本社企画部
	電話番号	049-277-5333
	作成日	2005年7月7日
	改定日	2021年8月24日

【製品名】 ガラスクリン GC-48

【物質の特定】

単一製品・混合物の区分	界面活性剤を含有する混合物	
化学名	アルコール系溶剤	
成分及び含有量	アルコール系溶剤	: 5~15%
	第4類アルコール類	: 5~15%
	アニオン系界面活性剤	: 適量
	染料	: 適量
	水	: 適量
官報公示整理番号	(2)-207	
CAS No	67-63-0	
国連分類及び国連番号	クラス3.2(中引火点グループ): 1219	

【危険物有害性の要約】

構成成分に関する情報

分類の名称	引火性液体	(消防法: アルコール類) (労安法執行例: 引火物質)
	急性毒性物質	(有機則: 第2種有機溶剤)

危険性	引火・爆発の危険性なし。
有害性	蒸気を吸入すると麻酔性、粘膜刺激性がある。 目に入ると角膜を侵す。
環境影響	環境影響について報告されていない。

シンボル



【応急措置】

目に入った場合	直ちに流水で最低15分間洗浄し、刺激感が残るようであれば、医師の診察を受ける。
皮膚に付着した場合	石けんを使用し、大量の水で洗い流す。

吸入した場合	通気の良い所で、安静にし気分が回復しない場合は 医師の診察・手当を受ける。
飲み込んだ場合	意識のある場合は、清水でよく口を洗い、可能であれば指を 喉に差し込んで吐き出させ、速やかに医師の診察・手当を 受ける。意識がない場合、口から何も与えてはならない。
【火災時の措置】	
消火方法	通常の消火方法による。 消火剤：注水、粉末、二酸化炭素、ハロゲン化合物
【漏出時の措置】	
	<ul style="list-style-type: none"> ・まず付近の引火源をすべて断つ、必要に応じ付近の通行を 禁止する。 ・少量の場合、ウエス、土砂等に吸入し回収する。多量の場合、 土砂等で流出拡大防止を図り容器に回収する。 ・回収ができない場合は大量の水で十分希釈して洗い流す。 ・周囲に及ぼす影響を適切に判断し、必要に応じて警察、 消防署、保健所等へ通報する。
【取扱い及び保管上の注意】	
取扱い	室内で取扱う場合は、十分な換気を行う。 皮膚に触れたり、目に入る可能性のある場合は保護具 (ゴム手袋・有機用マスク)を着用する。
保管	直射日光を避け、密封保管すること。
【曝露防止装置】	
管理濃度	労働省基準
許容濃度	日本産業衛生学会(1992年度版) ACGIH(1992年度版)
設備対策	洗顔・身体を洗浄する設備、自然換気あるいは 機械的な換気
保護具(眼鏡・手袋)	状況に応じ、ゴム手袋、ゴーグル、前掛、 有機用マスク等を使用する。
【物理/化学的性質】	
外観(色)	ブルー透明液体
臭気	アルコール臭
PH	8.0~9.0
比重又は嵩比重	0.94(20/4℃)
【危険性情報】	
構成成分に関する情報	
引火点	11.7℃(方法：密閉式)
発火点	460℃
可燃性	有り

爆発限界	2.07vol%～12.7vol%
酸化性	なし
自己反応性・爆発性	なし

【有害性情報】

製品としての安全性試験は行っていない。

構成成分に関する情報(人についての症例、疫学的情報を含む)

急性毒性:	経口	ラット	LD ₅₀ 6,840mg/kg	6.48mℓ/kg	5,300mg/kg
		ウサギ	LD ₅₀ 7,800mg/kg	7,900mg/kg	
		イヌ	LD ₅₀ 6,150/kg		
		ヒト	TDL ₀ 15,710mg/kg		
			(オトコ)TDL ₀ 8,600mg/kg		
	吸入	ラット(オス)	LC ₅₀ 22,500ppm/8時間		
		(メス)	LC ₅₀ 19,000ppm/8時間		
		マウス	LC ₅₀ 11,100ppm/8時間		
		ヒト(オトコ)	LCL ₀ 400ppm		

【環境影響情報】

構成成分として用いる溶剤に関する情報

生体毒性

項目	生物種	値(mg/l)
TLm96	Fathead minnow (ウグイ類)	11,130、10,400、9,640
増殖制御 のいき値	Entosiphon sulcation (原生動物類)	4,930
	Scenedesmus Quadricauda (緑藻類)	1,800
	Pseudomonas Putida (バクテリア)	1,050
生分解性	BOD ₂₀ :	1. 68 10ml/l
	BOD ₅ :	0. 16 10ml/l
	BOD ₅ :	理論酸素要求量の13%、28%、62%
	理論酸素要求量(ThOD) :	2.40

【廃棄上の注意】

廃棄は焼却により行う。その方法は次の何れかの方法による。

- ・焼却炉の火室へ噴射し、焼却する。
- ・少量の場合はケイソウ土などに吸収させて解放型の焼却炉で焼却する。
これを含む排水は活性汚泥などの処理により洗浄して排出する。

【輸送上の注意】

一般陸上輸送

漏洩注意、容器損傷回避

【適用法令】

構成成分に関する情報

消防法	危険物第四類アルコール類
労働安全衛生法	非危険物60%以上含有の為

【その他】

記載内容の取扱いについて

記載内容は作成時点で入手できた資料、データ等に基づいておりますが、含有量、物理化学的性質などの値は保証値ではありません。

また注意事項は通常を取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途用法に適した安全対策等を実施して下さい。

◎特別注意事項

この資料は取扱い及び使用者に対し、適切な警告と安全な取扱法を参考情報として提供するものです。情報は出来る限り正確かつ誠実なものであるよう努めておりますが、使用される環境及び条件については、弊社がコントロール出来ない為、この使用によって直接的又は間接的に損失もしくは損害を生じたとしても弊社はいかなる責任も負いません。